

27年度 修了の時

校長 佐野 眞吾

寒い冬を越し、桜の花もつぼみがふくらんで、もう春が目の前にやってきています。

ところで、木々は春に若葉を伸ばし花を咲かせるため、冬の間じっと寒さに耐えながら準備をしています。春の自然の美しさも、冬があってこそその美しさなのです。

今日は修了式です。修了式は生徒一人ひとりが一年間の勉強を無事に終えたこと祝う会でもあります。修了おめでとうございます。しかし、大切なことはこの一年間に頑張ったこと、もう少しだったこと、できなかったことなどを振り返って、次の学年に活かすことだと思います。

時々、校長室で生徒や保護者の皆様と面接する機会があります。その時、将来の夢や仕事について聞くと、「まだ分かりません、考えていません。」という人が沢山います。そういう人には、「高校3年間で見つければいいよ。見つかった時のために、学力、体力、精神力を今からしっかり身につけておこう」という話をします。新年度につながるような有意義な春休みを過ごしてください。



3月14日の卒業式では、仲間と共に切磋琢磨して立派に成長し、祝福を受けた卒業生の姿がありました。式辞の一部を紹介します。

「卒業生の皆さんとは一緒に西谷中学校に入りました。3年前の入学時、まだ幼さが残っていた皆さんが、この三年間で心身共に大きく成長しながら仲間と心一つにして、様々な活動に取り組んできました。特に三年生になってからの学校生活の取り組みはずばらしいものがありました。日々の真面目で前向きな学習への取り組みを始めとして、生徒会による学校生活向上の取り組みや体育祭で見せた強い団結心は印象深い物があります。修学旅行では自分たちで決めたルールを皆がしっかりと守り、大変自主的な行動ができました。また、日常における爽やかな挨拶と色々な部活動における夏の大活躍は忘れることはできません。しかし、とりわけ印象深いのは文化祭の合唱です。心一つにして美しい歌声を響かせ、下級生、保護者、我々教職員にも深い感動を与えました。それら全ての取り組みが、下級生の良いお手本となりました。そこでは、一人ひとりがよりよい学校生活を目指して、仲間を気づかい、思いやりを見せ、助け合い、励まし合って頑張っていました。

これから、皆さんはそれぞれの人生に旅立ちます。新しく環境が変わる時、新しい仲間と新しい体験が沢山待っています。是非、新しい環境の中でも、皆さんのやさしい思いと前向きな行動力を示して行ってください。

最後に、卒業生の皆さんには、こういう人生の節目に感じて貰いたいことがあります。今日、皆さんが受け取った卒業証書は、見方を変えればたった一枚の紙切れにすぎません。しかし、そこには沢山の人の思いが詰まっています。一番の思いは言うまでもなく家族です。生まれたときから皆さんの成長を喜び、時には厳しく、時には優しく、歩みを温かく見守ってくださる家族の愛情があってこそ、今、立派に成長した皆さんがあるのです。

自分の可能性を信じ、未来を信じ、未来に向かって一步一步、歩んでください。皆さんの前途が幸多いことを祈り、私の式辞と致します。」

保護者、地域の皆様へ

学校教育の課題が山積する昨今ですが、本校においても一年間を通じ様々な教育課題の解

決に取り組む一年でした。学校にご意見を頂いた方々には感謝しております。是非、今後とも学校に対して関心を持ち、ご意見をいただければ幸いです。

主な予定

4月5日(火) 着任式・始業式、入学式

6日(水) 離任式、対面式

7日(木) 学級写真撮影、新入生オリエンテーション

8日(金) 身体計測

9日(土) PTA 全体会・第1回専門委員会 10時～ 格技場等

12日(火)～22日(金) 部活動仮入部期間

15日(金) 5校時授業参観・学級懇談会

部活動保護者説明会 16時～